



議会だより

みさきり

No.34
H24.8.1発行

2P 就任のごあいさつ

6P 補正予算

4P 議員紹介

9P 一般質問



須恵小田植え

就任のごあいさつ

真の住民代表として

議長 橋爪 和彦



引き続き議長職を務めさせていただきますことになり、前期以上に責任の重さを感じています。非力ながら誠心誠意頑張る所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、合併後十年目を迎えた本町は多くの課題を抱えていて、議会としても難しい判断を迫られ

る機会が増すと考えています。そんな状況下での大量のベテラン議員の勇退に一抹の危機感をもっていましたが、代わった新人や元職の方々には既に議会の雰囲気にも慣れ、意欲を持って日々の議員活動に励んでいただいている、今では、即戦力の働きが十分に期待できると思っております。

六月議会で、今期も議会改革を継続していくことを決議しました。住民の代表という原点に立ち、より期待に応えることのできる議会を目指すものです。皆様方に、遠慮のないご提言とご指導をお願いし、就任の挨拶とさせていただきます。

コミュニティリーダーとしての議会を目指して

副議長 久保田久男



この度、浅学非才の身であります。が、橋爪議長を補佐しながら町民の皆様の負託に応え皆様の幸せ創りの一助に邁進していきたいと思

います。

今、国政を始め、地球規模で難題は多く閉塞感漂う昨今ではあります。私達の球磨地域、あさぎり町は、まだまだ可能性を秘めて

いると信じます。それだけの地域資源と人材を持っております。我々議会は、その可能性を最大限引き出すべく働く覚悟であります。今回の改選で新たな議員さんが加わり新たな活気が起こりつつあります。今後、懸案であった議会基本条例の制定を始め、さらなる議会改革を進めなければなりません。地方分権の進む中での

議会の有り方、二元代表制の中で議員のなすべき姿を追求しながら、議員各位と共に「乗り越えられない壁はやってこない」をモットーに地域におけるコミュニティリーダーとしての役割を果たしていきたいと考えます。町民の皆様のご指導の程宜しくお願い申し上げます。

厚生常任委員会

委員長 奥田 公人
副委員長 永井 英治
委員 久保田 久男
委員 橋本 誠
委員 加賀山 瑞津子

総務文教常任委員会

委員長 徳永 正道
副委員長 田原 健一
委員 橋爪 和彦
委員 皆越 てる子
委員 小出 高明
委員 久保 尚人

常任委員会 一部事務組合 議会監査委員等 構成

広報調査特別委員会

委員長 皆越 てる子
副委員長 豊永 喜一
委員 永井 英治
委員 森岡 勉
委員 久保 尚人
委員 加賀山 瑞津子

議会運営委員会

委員長 田原 健一
副委員長 小見田 和行
委員 溝口 峰男
委員 久保田 久男
委員 奥田 公人
委員 永井 英治
委員 徳永 正道

建設常任委員会

委員長 溝口 峰男
副委員長 小見田 和行
委員 豊永 喜一
委員 山口 和幸
委員 森岡 勉

一部事務組合議会等名	議 員 名				
人吉球磨広域行政組合議員	徳永 正道	豊永 喜一	皆越てる子	溝口 峰男	
公立多良木病院企業団議員	久保 尚人	小出 高明	奥田 公人	久保田久男	田原 健一
上球磨消防組合議員	橋本 誠	永井 英治	小見田和行		
川辺川総合土地改良事業組合議員	加賀山瑞津子	森岡 勉			
議会選出監査委員	山口 和幸				

◆平成 24 年第 2 回定例会・議案表決一覧表

議案名	議員名	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	徳永	豊永	山口	永井	皆越	小見田	奥田	田原	溝口	久保田
あさぎり町保育所運営検討委員会の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町長等の給料の減額に関する条例の制定		○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○
あさぎり町印鑑条例の一部を改正する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度あさぎり町一般会計補正予算(第1号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議会議員14名紹介

(議席番号順)

2



橋本 誠

私は自然に恵まれたあさぎり町に生まれた事を誇りに思います。合併10年を迎え財政問題等の諸問題が山積されていますが、町民の期待に応える為、“誠実”をモットーに一つの事からコツコツと背伸びせず一歩一歩確実に、解決に向けて努力してまいります。

町民の皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

1



加賀山瑞津子

「皆さまこんにちは」須恵地区出身のかが山みつ子です。

福祉・教育現場での経験を生かし「健康」で笑顔あふれる福祉の地域づくりを目指してまいります。住民の皆さまと行政との情報の共有に努めてまいります。あさぎり町だから出来る人づくり町づくり「一人の百歩より共に皆さんと一歩ずつ」の姿勢で具体的に取り組んでまいります。

4



小出高明

均整のとれた融和な町作りが出来る様に町民の方の声を反映させ、色々な問題ひとつひとつに目を向け、少しでも生活環境が良くなるよう、そして若者が残り、活気活力のある町になるよう、町政が、皆様にとってより身近なものになる事を目標に、日々努力していきたいと思っております。御指導御鞭撻よろしくお願い致します。

3



久保尚人

あさぎり町が誕生したことで国から特別扱いで貰ってきたご祝儀(地方交付税)が再来年度より段階的に減らされて31年度にはなくなります。今まで贅沢なお金の使い方(予算組み)をしてきましたから上手に節約していかないと家計(町財政)がうまく回りません。

将来を見据えた賢いお金の使い方を考え、住みよい町を目指します。

6



徳永正道

あさぎり町が誕生して早十年目を迎えたこのような節目の年に議員として重責を担わせて頂く事となりその責任を痛感している所です。

議会の役割とは車に当てはめると、ハンドルが町長、エンジンが職員、アクセルとブレーキが議会であります。町長が誤った方向にハンドルを切ればブレーキを、町民にとって早急な政策であればアクセルの役目を果たさなければなりません。

予算は町民の為に！議員は町民の為に基本姿勢として取り組んで参ります。

5



森岡 勉

私は、町民の皆様が生まれ、育って良かったといえる住民主体の町づくりに努力し、取り組んで参ります。

今、地方分権時代を迎え議会の役割、活動、責任の度合いも加重しておりますので、常々を「一貫不怠」の意をもって、町民各位から信頼される議会、安心して定住できる町づくりに精一杯努めます。

8



山口和幸

あさぎり町は急速な少子高齢化の進展に伴い、大きな課題・問題山積みであります。

その中であって、1票・1票に託された町民のみなさまの思いを忘れることなく、地域の課題・問題点の克服のために地域とのつながりを大切に、町民のみなさまの目線にたって、役場とのパイプ役に徹し、誠心誠意議会活動に取り組んでまいります。

7



豊永喜一

熱意・誠意・実行をモットーに、今期も決意を新たに活気あふれる町づくりを目指して頑張る所存です。

現在、町では様々な課題(少子高齢化、雇用確保、財源の問題、産業活性化等)が山積しております。

是々非々の姿勢で臨みますので、今後ともよろしくお願い致します。

10



皆越てる子

今回2期目、今まで以上の責任の重大さを痛感すると共に、あさぎり町合併10年間の有利な国からの補助金、合併特例債が途絶え厳しい財政状況の中、町民に負担の少ない町づくり、均衡ある町づくり、若者が残れる町づくりを掲げ、任期4年間皆様と一緒に汗を流し、知恵を出し、切磋琢磨して頑張りますので宜しくお願い致します。

9



永井英治

来年、合併10周年を迎えるあさぎり町。合併の良し悪しは、今後数年の町の動きにかかっていると言っても過言ではありません。無我夢中で議員活動をやってきた1期4年の経験を生かして地に足を着けた議員活動を、また町外との広域的な観点からの議員活動にも取り組み、「和して同ぜず」の精神を忘れる事無く頑張ります。

12



奥田公人

今期は「均衡のとれた活気あふれる町づくり」をスローガンに取り組んで参ります。あさぎり町合併からやがて10年を迎えようとしており均衡ある発展が特に大切と感じています。

- 農林業を基盤とした商工業の併進
- 教育の充実と人材育成の推進
- 少子化対策と定住促進
- 社会福祉・地域福祉の充実
- 安全・安心の町づくりに向かって公正・公平に努めます。

11



小見田和行

「決意」
今期中に町の財政は大きな転換期を迎える。すなわち、合併の優遇措置が切れ、国からの交付税も大幅に減ってくる。そんな環境のもとに、議会にとっても厳しい判断を求められる議案が、これまで以上に多く発生する事が予想される。「是々非々」をモットーに町民の生活を守り、あさぎり町発展のために、微力であるが全力を尽くしたい。

14



溝口峰男

町の財政も大変厳しい状況ですが、あらゆる知恵を絞って、限られた資金と資源を活用して「あさぎり町」ならではの「町づくり」をしていかねばなりません。

私が提案した、雇用の確保と産業活性化のための基金3億円が、昨年の3月議会で可決されました。しかし、町の具体的な取り組みができていません。あらゆる知恵を結集して3億円が30億、50億円の経済効果となるよう頑張っております。

13



田原健一

町民の皆様の負託にこたえるべく、常に(あ)つい思いで、(さ)まざまな課題に、(せ)会人として誠意と(り)よう識をもって取り組みます。合併10年目を迎え、中学校がひとつになったことにより、生徒・保護者・町民の交流の輪が広がり、町民の絆が更に深まってまいります。町民が描いていた「夢ふくらむまち」の実現に努めます。

第2回定例会が、6月12日に開会し、一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例の改正等が提案され、いずれも原案の通り可決されました。また一般質問では、9名が登壇し様々な面から町政を質しました。

平成24年度 一般会計補正予算

歳入・歳出それぞれ**3億3万6千円**を追加し

総額

98億6,475万9千円

主なものとして

簡易水道事業会計繰出金	630万円
道路維持費	480万円
土地改良施設維持管理適正化事業交付金	324万円
各種イベント用ステージ、机、イス等	248万2千円
測量設計委託料	210万円
ふるさと基金積立金	200万円
熊本稼げる園芸産地育成対策事業補助金	161万2千円
人吉球磨林業機械センター負担金	80万4千円



新多良木大道線



上土地改良区水管橋の塗り替え

平成24年度特別会計補正予算

簡易水道事業特別会計	630万円
球磨郡介護認定審査事業特別会計	50万5千円



上南観測ろ過装置

審議内容の抜粋

教育費（小学校管理費） 理科支援員等配置事業

27万円

問

岡原小学校に配置予定とあるがどういう先生を採用されるのか、またその期間はどのくらいか。

答

期間は8ヶ月で246時間、支援員は校長経験者をお願いしたいと検討している。

駅前開発事業

（備品購入費）

248万2千円

問

ステージ等の配置の計画は。

答

固定式は景観と経費の面から取りやめた経緯があり、現在はすべてのイベントに利用できる移動式ステージを考えている。

あさぎり音頭募集

優秀作に賞金5万円

問

合併10周年事業の一環として、あさぎり音頭募集とのことだが、6月3日の菖蒲祭りにおいて、すでにあさぎり音頭が披露されたがどうなっているのか。

答

祭り当日は、カラオケ愛好会の方があさぎり音頭として披露されたとのこと。今後、代表者の方と連絡を取り合い作成された経緯と今後の対応について協議する。

町長等の給料の減額に 関する条例の制定

（職員の不適切な事務処理及び職員の非違行為に対する責任）

問

職員の意識の中に、自分達あつての町という思い上がった意識があるのではないか。町民サービス業務第一という事を考えればミスは発生しないのではないか。そういう事を踏まえ町長の決意は。

答

これを機に各部署各部門に町長、副町長、教育長自ら出向いて、徹底して再発防止に取り組む。

条例の制定及び改正

あさぎり町保育所運営検討委員会
条例

今後の町立保育所運営のあり方などについて関係者の意見を求め、よりよい保育行政に役立てるもの。

あさぎり町長等の給料の減額に関する条例

町公共下水道事業等における不適切な事務処理及び職員の非違行為に対する責任として町長は平成24年7月1日から3ヵ月間給料の10%を減額。副町長・教育長に於いては、平成24年7月1日から1ヵ月間給料の10%を減額とするもの。

あさぎり町印鑑条例の一部改正

住民基本台帳法が改正されることに伴い改正するもの。

あさぎり町の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する条例
の一部改正

一般職の非常勤職員の報酬月額を定めるため、改正するもの。

繰越明許費

(平成 23 年度から 24 年度へ繰越された予算)

役場本庁舎非常用
発電装置設置事業

9,336,000円

駅前整備事業

59,663,000円

農業用施設等改修事業

11,340,000円

橋梁補修事業

11,700,000円

林業・木材産業振興
施設等整備事業

14,284,000円

道路改良・歩道整備事業

202,879,000円

公有林整備事業

5,754,523円

消防団員安全装備品整備事業

1,374,000円

都市部アンテナショップ
開設運営事業

6,288,000円

林道施設災害復旧事業

4,350,000円

あさぎり町固定資産評価審査委員会委員に5名を選任



齋藤 幸寛 さん(64歳)
上北472番地の2

田山 忠 さん(63歳)
深田東2373番地

愛甲 恵 さん(61歳)
須恵2233番地の1

中野慎一郎 さん(64歳)
免田東4023番地

永椎 浩二 さん(65歳)
岡原北68番

一般質問

9人が登壇

9 P

餃子開発その後の検証

皆越 てる子 議員

10 P

中学校北門を利用する自転車通学生の安全性は

永井 英治 議員

農業振興と活性化対策は

森岡 勉 議員

11 P

住民サービス向上のための業務改善は

久保 尚人 議員

地域資源を活かした雇用創出は

小見田 和行 議員

12 P

外部委託の検討と再検証

加賀山 瑞津子 議員

あさぎり中学校通学道路の改良工事、側面施工のあり方は

奥田 公人 議員

13 P

アンテナショップの運営の見解を問う

徳永 正道 議員

下水道料金賦課漏れ414万3700円。その後の対応は

溝口 峰男 議員

問 餃子開発その後の検証

商工観光課長

冷凍食品として販売の許可を取りたい



皆越 てる子 議員

皆越 広報あさぎり30号、平成22年12月号「こんにちは町長です」の掲載文によりますと餃子で町おこしを掲げ、雇用と農家所得の向上を図る。ふるさと振興社の支援金をなくし、独立採算を図る大きな取り組み課題である。餃子は子どもから大人まで好んで食べられており、何十年と安定して売れている商品であるという事ですが、その後の経過を伺いたい。

商工観光課長 県の補助金（くまもと農・林・水・夢）チャレンジ支援事業（90万円を頂き、機材等を揃え、手探り状態の中で餃子づくりに着手したところです。

開発にあたりましては、地元で餃子づくりに経験のある2名の女性の方のアドバイスを受けながら数種類

の試作品を完成させております。

平成23年度では、平成22年度で試作した餃子の中から3種類に絞り込み、試食会を重ねながら、さらなる改良に努めています。又、商品化に向けた取り組みといたしましては、プロの料理人のアドバイスが必要不可欠と言ったことから、開発アドバイザーになっていただき、現地指導、今後の方向性等をつぶさに監修をいただいたところです。

今後は、冷凍食品としての販売許可を取得した上で、製造販売に向け努力していきたいと思っております。

その他の質問

・職員の人事異動について



問 中学校北門を利用する 自転車通学生の安全性は

教育課長 警察や安全協会と一緒に取り組んでいる



永井 英治 議員

を共有して整備を進めている。
永井 学校給食の食材の納入業者を町内の業者優先に出来ないか。

永井 中学校の北門を入りする370名の自転車通学生は、朝夕大変危険な状況だと思うが。
教育課長 開校後、警察署と安全協会主催の交通安全教室を開催した。また、色々な情報提供があれば、生徒に個別指導もやっている。北門に通じる「新多良木大道線」が開通すれば、危険解消になると思う。
教育課長 納入については、物資選定部会で出来るだけ町内の業者を優先しているが、今後学校給食運営委員会で協議をしていく。

- その他の質問
- ・ スクールバスの運行状況
 - ・ 部活動の問題点
 - ・ 町内ヘットの管理状況

永井 新多良木大道線の開通が遅れているが、建設課との横のつながりはどうなっているのか。
教育課長 担当課の連絡や工事の進捗状況等は、生徒保護者への連絡も必要になる事を踏まえ随時情報



北門の登校の様子

問 農業振興と活性化対策は

町長 最優先課題として取り組む



森岡 勉 議員

町長 今の高齢化の中で、私も産業の活性化の一つとして地元素材を使い、地元雇用の創出のために、町の遊休施設を利用した、雇用の場の確保と、地元素材に付加価値をつける取り組みを最優先で取り組んでいく。
その他の質問
・ 情報公開の徹底と法令遵守等について

森岡 あさぎり町の基幹産業は農業であり、農業の振興活性化なしには発展は望めない。今後、十年間で今まで経験した事のない世代交代を迎えます。このような現状の中で、地域農業を守るための施策をどの様に講じられていくのか、また、本町の遊休資産や、中学校統合後の資産の有効活用による地場産業としての開発等への取り組みについて町としての考えを伺いたい。

農林振興課長 球磨人吉の中に農産物加工処理施設の計画をお願いしている。



問 住民サービス向上の

ための業務改善は

町長 まずは笑顔での対応を心がける

久保 住民サービスについて基本的な考え方は。

町長 安心して暮らせる町、住んでよかったと思える町が基本である。

久保 合併前は町村民と職員の距離が近かったという声をよく聞く。このような関係を取り戻すには。

町長 町民と職員の距離が遠いと私も痛感している。窓口では笑顔の接客を心がけなさいと言っている。

久保 私も今回、すべての業務で笑顔の対応を全職員にお願いしたかった。笑顔での対応があるだけで町民の受ける印象は随分変わってくるので、ぜひ取り組んでいただきたい。

先日も町民の方から役場は住民の側に立っているという意識と町民の方々が間接的に皆さんの給料を払っているという意識を持って、おもてなしの心で住民サービスを磨いていただきたい。



久保 尚人 議員

対応が行われていないというお叱りのお話をいただきました。自分はあさぎり町一番

問 地域資源を活かした雇用創出は

町長 引き続き検討してみたい

小見田 熊本県

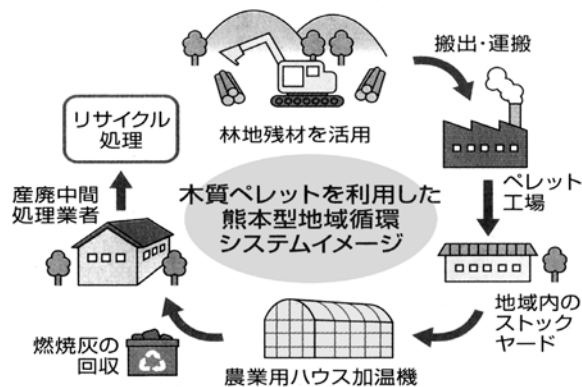
は林地残材の有効活用による林業の活性化と、再生エネルギーによる農業展開を具体化する方針であるが、バイオマスタウン構想の町、あさぎりとしてこの流れに参画する考えはないか。

町長 県の取り組みに対して内容を見極め、もう少し勉強させていただきたい。

小見田 農業の担い手不足、高齢化に対応すべく、先般、農業支援センター設立に向け予算化されたところであるが現状はどうなっているか。

町長 2名雇用の予定であるが、業務の整理に手間取り、募集要綱に苦戦してい

るが、業務の整理に手間取り、募集要綱に苦戦している。



る。7月中にはめどを立てたい。

小見田 働く場があり夢と希望があれば、若者は残り、今地方が抱える多くの問題は解決につながるものと思う。

その他の質問
・シカ等の肉資源を活かした雇用創出



小見田 和行 議員

問 外部委託の検討と再検証

町長 集中と選択をもって

メリハリをつけて取り組んでいく



加賀山 瑞津子 議員

総務課長 熟度の状況等みながら将来的には昇任昇給等にも反映させていく。
加賀山 住民満足度向上の町政運営への

決めて自分達の仕事について見極める能力も高めつつ取り組んでいきたい。

加賀山 指定管理事業の委託の成果と、温泉施設の課題と対策について
町長 今後温泉の一つを町の健康福祉増進に寄与できる施設に徐々に切り替えていくべきであろう。指定管理のあり方については基本的に継続し適切な人員や費用軽減をふまえて毎年見直しを行っていききたい。
加賀山 平成25年度導入予定の職員の人事評価制度の試行後の具体的な反映について

町長の企業人としての実績の活用は。
町長 民間企業と間企業とはかなり違う点もあるが、職員と共にかかるコスト意識をもつて或いはいつまでという期限を



ヘルシーランド

問 あさぎり中学校通学道路の改良工事、側面施工のあり方は

町長 環境に優しい形での法面工事



奥田 公人 議員

奥田 あさぎり中学校通学路、齊堂原58号線及び上村岡原線改良工事が実施されている。側面施工は、透水性保水型土系防草工という方法で施工されているが、平成22年度に施工された齊堂原58号線の約250メートルは、側面が崩れて草が生えるなどの不具合が生じている。町はこのような未完成的の工事を何故実施されたのか。

町長 環境に優しい形での法面工事を実施した。私も状況を見ていますが、一部崩れているのを確認した。



齊堂原58号線の側面施工

建設課長 平成22年度に工事を行った部分の法面が、崩壊しているが、草が生えないもしくは抑制できる方法はないかというところで、この方法を選んでいる。コンクリートなどにかわる産業廃棄物を出さない工法で自然環境あるいは景観に適合するやさしい工法。全国的にも少しずつ増えている工法だ。

その他の質問
 ・旧岡原中学校跡地を岡原小学校として活用する為の設計内容について
 ・試掘した井戸水を岡原地区の上水道飲料水として活用できないか

問 アンテナショップの運営の見解を問う

町長 徹底してこの成功に向けて 取り組んでいきたい



徳永 正道 議員

徳永 オープン5日から12日迄の売上額と客数は。

商工観光課長 7日

間合計で売上金額は、65万8千22円、客数は793名であり、一日当たり売上金額は9万4千3円、客数は113名である。

徳永 6月の売上目

標は198万7千271円、客数は2250名としているが達成できると思うか。

町長 トータル責任者を雇って全体的な取り組みをし販売の建直しを図っていききたい。

徳永 一年目にして目標達成と費用対効果が上が



アンテナショップでの店頭販売

らなかった場合、勇気を持って傷が浅い内に撤退するのも一つの選択肢と思うがどうか。

町長 まだ十日程度なので進退は早すぎる。相当決意をし、いろんな関係の人にお願いをしながら進めていきたい。

徳永 本町の税収も落ち込んでいっている中で二年目、三年目と金をつぎ込むのは認めがたい。目的が危ないと考えた場合、撤退するのも勇気だと思う。経過次第では二年目からの予算には賛成しがたい。

一般質問

問 下水道料金賦課漏れ

414万3700円

その後の対応は

町長・副町長・教育長で対応する

溝口 下水道料金 414万3700円が賦課漏れとして発覚した。

懲戒処分と町民対象者への対応は。

総務課長 職員の懲戒処分は戒告で生涯賃金が90万円程減額される。

上下水道課長 賦課漏れの17件の内、2件が納付書の受け取り拒否、3件

が全納、1件が5カ月、1件が7カ月、1件が8

カ月、1件が1年の支払い状況である。

町長 対象世帯には、自宅に伺っておわびと同時に納付のお願いをしている。

溝口 産業活性化基金3億円を設置して一年半を過ぎた。なんの活用策も示さずにきた。どの様に考えているのか。

町長 農林商工連携の中で3年間、商品開発等してきた。この取り組みをもっと大きくするために

この制度は、水上村で実施している。大変好評であるので検討にあたいするのではないか。

一、6次産業推進のため

二、林業機械等の導入補助

三、施設的设计や機械導入等への補助

助成いは、特用林産

資材導入の補助

この制度は、水上村で

一部事務組合議会報告

上球磨消防組合議会

平成24年第1回臨時議会が5月10日午前10時より、消防本署にて開催された。今回は、本町議会議員の改選を受け、議席の指定で本町選出の橋本誠議員が新しく議席1番に指定され、続いて議長には指名推薦により本町選出の小見田和行議員が前回に引き続き選出された。引き続き専決処分の報告及び承認では、消防救急デジタル化に伴う基本設計料の負担金の変更があり、歳入歳出それぞれ196万3千円の減額の報告があり原案通り承認され、他2件の議案も原案通り可決し、閉会された。

公立多良木病院企業団議会

平成24年第3回臨時会は6月11日に招集された。同文議決が1件、平成24年度球磨郡公立多良木病院企業団事業、介護保険施設事

業及び総合健診センター事業会計補正予算については、医師不足が大変深刻化しており、医師確保に向けた大学への寄付を2000万円。また毎日の医師待機手当日直業務への手当等を増額という内容であった。

人吉球磨広域行政組合議会

平成24年第1回人吉球磨広域行政組合議会定例会が3月27日、午前10時から人吉カルチャーパレス第2会議室に於いて開催された。一般会計予算総額27億7千370万円、人吉球磨ふるさと市町村圏特別会計予算総額160万円、特別養護老人ホーム特別会計予算総額3億7千306万2千円、一般会計経費の負担金総額23億833万6千円、以上の議案が可決された。第2回臨時議会が5月29日午前10時から開催され、

球磨村選出議員・あさぎり町選出議員の議席の指定があり徳永正道議員を26番豊永喜一議員を27番、皆越てる子議員を28番、溝口峰男議員を29番に指定をし、組合の共同処理する事務に関する調査特別委員会委員長に溝口峰男議員が選出された。

川辺川総合土地改良事業組合議会

第2回川辺川総合土地改良事業組合議会が、7月5日午後2時より組合会議室において会期一日にて開催された。

今回は、あさぎり町議会等の改選を受け議席の指定後、空席になつていた副議長の選任を行い、指名推薦により、JAくま選出の多良木町の平野勇一議員を選出した。引き続き議案の審議に移り、監査委員にあさぎり町農業委員会選出の北川一之議員を選任した。続いて、専決処分事項の承認と、二議案はいずれも原案通り可決された。

また、委員会の閉会中の継続審査及び調査について承認し閉会した。

あさぎり町議会 活性化特別 委員会発足

あさぎり町議会活性化特別委員会の設置に関する議案が可決され、平成24年6月18日に発足いたしました。

この委員会は開かれた議会をめざして16名の全議員で構成され、小見田和行委員長、永井英治副委員長を中心に活動していきます。



新人議員研修会



加賀山 瑞津子

午前9時30分、あさぎり町の議員を対象に企画財政課より一般会計予算や

さる5月25日の新人議員研修会に参加しました。午前中は役場本庁舎にて、午後からは球磨地域振興局にて8町村の議員、事務局40名が参加し議員必携を基に議会運営について県町村議会議長会古家陽介主幹より講話がありました。



久保 尚人

政治健全化比率と一般的には聞きなれない言葉ですが、自治体の健全

4月の議員選挙を終えて、まだ気分も高揚しているなか、5月25日に新人議員研修会が行われました。午前中、あさぎり町役場会議室にて企画財政課より、あさぎり町が置かれている状況について、さまざまな財政指標や財政健全化比率を示しながら細かな説明がありました。財政指標や財

財政指標と健全化判断比率の説明と第2次行財政改革プランについての講話がありました。

平成15年に誕生したあさぎり町、17年度からの第1次プランにつき今年度からの第2次プランについて、現状や今後の町のあり方について詳しく説明がありました。

主な項目

- ◎第2次行財政改革の必要性について
- 第1次からの成果—
- (※行財政改革の表示は以降省略)
- ◎第2次での基本的な考え方

全性を判断するために大変重要なものです。現在のところ、あさぎり町は他の同等規模の町と比べれば平均的な数値です。ところが、2年後の26年度からは地方交付税の合併による優遇措置部分が段階的に減らされていきます。仮に22年度の予算と対比し試算してみますと、26年度が1.8億円減、27年度には5.4億円減、28年度には9億円減、29年度には12.6億円減、30年度には16.2億円減、31年度には優遇措置がすべてなくなり18億円の歳入減という大変な事態になることが見込まれます。みなさん、知っていましたか！（知らなくても仕方ありません。役場職員でも危機感を抱いているのは少数派という話でした。）今の支出を続けられれば、全国の最低レベルにまで落ちてしまいうそうです。（町の試算では現在取り組んでいる収支改善プランを実行しても、実質単年度収支は7億円を越える赤字を想定しています。）合併の優遇措置が切れる31年度は町の試算で18億円減、県の試算で24億円減となり、24年度の予算を概算で100億円と仮定すれば、単純に比較してもすべての歳出を2割前後減らさなければならぬ緊急事態となります。平成の大合併第1号と全国に報道されてき

—基本方針。3つの視点。5つの柱。計画期間—

◎重点項目

- (町政運営指針・人・組織・財政構造・事務事業)の改革—
- ◎第2次の推進による町の展望—
- プラン実施計画—
- ◎町の財政状況

今後、合併特例法が25年に終了し財政優遇措置が段階的に減額され、31年度には実質単年度収支7億円の赤字となると予測されています。恒常的な歳入不足に対処するための準備と取り組みとして第2次プランをしっかりと進めていく必要性を痛感しま

たあさぎり町が平成の大合併の破綻第1号として全国に報道されるようなことは絶対に避けなければなりません。町は財政調整基金や合併特例債という借金で積んだ基金を徐々に縮小していく町財政を緩やかに縮小しようと考えているようです。2年後から始まるこの確定している未来を私たちは理解し、問題を共有して、その準備を町民全員で始めなければなりません。このような大変な時期に、新人議員として仕事を与えていただいたからには精一杯がんばらなければと決意を新たにしました。

した。大幅な経費削減を図りつつ、しかし行政サービスの低下を防がなければなりません。そのためにも「住民との協働」町民と行政が一緒に町づくりに取り組むという認識がひとつの大きな柱になると思います。その中で私たち議員は重要な役割を担っていると感じております。住民の皆さまのご期待のもとに議会という活動の場に席をおかせていただいているという責任感、使命感を持って今後も精一杯町づくりに努めてまいります。

たあさぎり町が平成の大合併の破綻第1号として全国に報道されるようなことは絶対に避けなければなりません。町は財政調整基金や合併特例債という借金で積んだ基金を徐々に縮小していく町財政を緩やかに縮小しようと考えているようです。2年後から始まるこの確定している未来を私たちは理解し、問題を共有して、その準備を町民全員で始めなければなりません。このような大変な時期に、新人議員として仕事を与えていただいたからには精一杯がんばらなければと決意を新たにしました。

〔表紙写真〕 須恵小学校4・5・6年生の児童ら45名が愛甲利孝さんの水田で毎年恒例の田植えを行いました。あいにくの雨で「ごみ袋」で作った手作りカップを着ての作業となりました。



須恵覚井
藤永くに代

はっしん 元気に地元発振で

今回初めて傍聴に参加しました。その中で「町おこし」という言葉が耳にとまりました。福岡のアンテナショップから他県への発信もよいですが、町民の立場としてはせっかくの「町おこし」まずは地元重視で取り組んで欲しいと思います。駅前スペースに公園ができるそうですが、この場所に道の駅は創れないものでしょうか？町長のページに他町村との競合についての記事がありましたが、餃子や加工野菜、パック食材などの推奨商品の愛用者に、町民の皆さんになっていただくためにも検討して欲しいと思います。

あと議会の開催日についてですが、ネット配信はありますが、インターネットがない家庭もある訳ですので、例えば日曜日の議会開催も町民のためには必要なのではないのでしょうか？

これからも私達の代表として、議員の皆様にはより一層のご活躍を期待しております。



岡原南
林田文則

水稲、大豆の推進を

平成23年から、戸別所得補償制度が始まり、水田営農に対する政策は、大きな転換期を迎えています。自給率向上対策でも、交付金設定によって、地域が変わってきています。あさぎり町に於いても水稲作付面積が235ヘクタールと、配分面積より不足しているのが現状です。

主幹作物である水稲作付を始め、麦、大豆の面積が減少の傾向にあり、特に大豆の面積は最盛期の頃と比較すると、半分に減少してきています。その反面飼料作物は、面積が3倍も増反しているという状況です。あさぎり町水田営農推進協議会でも、水田農業の改革や、基本的な方向で、水稲、麦、大豆の推進を行っていますが、面積の拡大及び、維持が厳しいというのが現状です。福島県矢吹町では、大豆に対して、県と町から助成を行っているという新聞に掲載されました。そこであさぎり町議会でも、水稲、大豆の推進及び助成金の提案と方策をお願い致します。

編集後記

4月は出会いと別れが一度に訪れる季節です。

議会事務局も4名体制より3名体制と変わりました。又、今回の選挙より議員定数も18名より16名になりました。広報委員のメンバーも替わり、イメージチェンジをした、見やすく分かりやすい広報誌を目指してまいります。皆様のご支援とご協力をお願い致します。
(皆越)



編集・発行責任者

広報調査特別委員会

- | | | |
|------|-----|-----|
| 委員長 | 皆越 | 和彦 |
| 副委員長 | 豊永 | 瑞津子 |
| 委員 | 井永 | 英治 |
| 委員 | 森岡 | 尚人 |
| 委員 | 久保 | 加賀山 |
| 委員 | 加賀山 | 瑞津子 |

発行／あさぎり町議会 編集／議会広報調査特別委員会
〒868-0422 熊本県球磨郡あさぎり町上北1855番地
TEL(0966)47-0312・FAX(0966)47-0265
E-mail syoki-gikai@town.asagiri.lg.jp